



2019年7月29日

お客さまの声にお応えし、「みんなのえきもくプロジェクト」で池上線ならではの長い木製ベンチも復元！

7月31日(水)池上線旗の台駅「木になるリニューアル」が竣工します

～戸越銀座駅に続き、多摩産材の木材を使用して温かい雰囲気駅の駅に改修～

東京急行電鉄株式会社

2017年11月に着工し、地域の皆さまの想いを継承しながら進めてきた、池上線旗の台駅のリニューアル工事「木になるリニューアル(以下、本リニューアル)」が7月31日(水)に竣工します。

本リニューアルでは、グッドデザイン賞など数々の賞を受賞した池上線戸越銀座駅のリニューアルに続き、東京都内の多摩地区で生育、生産される「多摩産材」を使用し、老朽化したホーム屋根を温かみのある木造ホーム屋根に建替えるほか、待合室も木を活用し、空調完備の居心地のよい空間に改修しました。

さらに、本リニューアルや池上駅開発計画で発生する古材を駅および沿線で活用する「みんなのえきもくプロジェクト」の一環として、お客さまから復活のご要望が多かった、下り線ホームの長い木製ベンチを、元の素材を出来る限り残して復元します。

今回、多摩産材を約210m³使用することで、鉄骨造に比べ、材料製造時の二酸化炭素放出量を約180t削減、炭素固定化により約120tの二酸化炭素を貯蔵することで、あわせて約300tの二酸化炭素削減に寄与しています。また、ホーム屋根の建て替えには、東京都内の鉄道施設としては初めてとなる CLT (Cross Laminated Timber) と呼ばれる木質系の材料を採用し、断熱遮音などの効果のほか、木材利用を通じて、「植える・育てる・使う」という森林資源の循環利用を促進し、東京都の森林・環境保全に貢献しました。

なお、本事業の一部は、当社が「平成29年度森林・林業再生基盤づくり交付金事業」において採択を受け、同事業の補助により実施するものです。

池上線沿線では、池上駅でも街の魅力を高める駅舎改良、駅ビル開発を2020年度の開業に向け進めています。「みんなのえきもくプロジェクト」の第3弾では、池上線の象徴である長いベンチを、公共の場で活用していただける「えきもくベンチ」としてリデザインし、池上駅の古材を用いたベンチの制作キットとして、応募いただいた地域の店舗や公共施設などに10組無料で配布しベンチを設置します。ベンチのMAPはHPIにて8月下旬から公開予定です。当社は、引き続き、地域にお住まいの皆さまに愛される駅および沿線づくりに取り組み、さらなる沿線の活性化に努めていきます。

本リニューアルの概要は別紙のとおりです。



▲リニューアルしたホーム屋根



▲長年親しまれ、本リニューアルで復元する旗の台駅の木製ベンチ

以 上

【別紙】

(1)池上線旗の台駅リニューアル「木になるリニューアル」概要

《リニューアル概要》

- 建物名称： 池上線旗の台駅
- 所在地： 東京都品川区旗の台2-13-1
- 工事内容：
 - ・ホーム屋根の建替え
 - ※「多摩産材」を活用
 - ・ホーム待合室などの改修
 - ※木を活用した空調完備の待合室
 - ・木製ベンチの復元

※旗の台駅下り線ホームで使用していた木製ベンチを復元

▲リニューアルしたホーム屋根



○着 工： 2017年 11月

○竣 工： 2019年 7月

《多摩産材概要》

東京都内の多摩地域で生育し、生産された木材を「多摩産材」と呼びます。東京は、総面積の約4割を森林が占める自然に恵まれた世界でも有数の大都市であり、地場の多摩産材を活用することは、水源の涵养や災害の防止、二酸化炭素の吸収などの森林の多面的な機能を発揮するとともに、東京における持続的な森林整備と林業振興にも繋がります。



▲「多摩産材」ロゴマーク

▲「多摩産材」イメージ

《CLT概要》

CLTとはCross Laminated Timberの略称で、ひき板(ラミナ)を並べた後、繊維方向が直交するように積層接着した木質系材料です。厚みのある大きな板であり、建築の構造材のほか、土木用材、家具などにも使用されています。

日本では2013年12月の製造規格となるJAS(日本農林規格)の制定、2016年4月の建築基準法告示の公布・施行により、CLTの一般利用がスタートしています。

CLTは構造躯体として建物を支えると共に、断熱、遮音などの複合的な効果も期待できる材料です。

(引用: 一般社団法人日本 CLT 協会 HP より (URL: <http://cltjap/clt/>))



▲「CLT」イメージ

(2)「みんなのえきもくプロジェクト」概要

池上線旗の台駅改良工事「木になるリニューアル」および池上駅開発計画で発生した木材(以下、えきもく)を駅および沿線で活用し、歴史ある木造駅の記憶を未来に継承することや、工事に伴う環境負荷低減(廃材処理時の二酸化炭素削減)に寄与することを目的として2018年春に始まりました。

これまでにえきもくで椅子、クリスマスオーナメントそれぞれを制作する2回のワークショップ、池上駅のえきもくを用いたベンチ制作キットを公共の場に設置可能な事業者さまへ配布するイベントの計3回の取り組みを実施してきました。

(参考)古材の概要

- ・古材活用元: 池上線旗の台駅および池上駅の駅舎およびホーム屋根など
- ・古材発生量: 約200m³(直径30cm 長さ4mの丸太約555本)

※古材活用量については、古材劣化・損傷や保管場所などの状況により変動します。





▲椅子制作のワークショップの様子



▲池上駅舎に設置されていた長い木製ベンチ

《みんなのえきもくプロジェクト第3弾「池上駅の古材をまちに広げよう」計画概要》

- (1) 募集期間 2019年3月26日(火)～4月30日(火)
- (2) 配布キット数 10組
- (3) ベンチキット引渡日 2019年6月1日(土)
- (4) ベンチキット費用 無料
- (5) ベンチの大きさ 高さ 約100cm、幅 約170cm、奥行 約50cm
※完成したベンチには、池上駅の古材であることを証明するための上記プレート
を設置していただきました
- (6) キット制作 リビルディングセンタージャパン
- (7) えきもくベンチ設置場所MAP ※場所により設置開始時期は異なります。



- ① 池上梅園
- ② 古民家カフェ蓮月
- ③ 池上会館
- ④ 池上郵便局
- ⑤ SANDO BY WEMON PROJECT
- ⑥ HITONAMI
- ⑦ 城南信用金庫 池上支店
- ⑧ くさっぱら公園
- ⑨ 大田区民プラザ
- ⑩ 牧田総合病院 蒲田分院
- ⑪ 立ち飲みバル FUKURO



▲カフェに設置されたベンチ(HITONAMI)



▲ベンチ制作のワークショップの様子(HITONAMI)

(参考)池上駅開発計画(駅舎改良・駅ビル開発)概要

駅舎改良では、現在北側に1カ所ある改札口を橋上化し南口を新設するほか、改札内の構内踏切を廃止します。駅ビルは5階建てとし、大田区立池上図書館を駅ビルに移転し整備すると共に、保育園、店舗などの導入を検討しています。建物のデザイン監修は株式会社 E.A.S.T.建築都市計画事務所が手がけ、外観には、740年以上の歴史をもつ池上本門寺を中心とした門前町の歴史性をデザインに取り入れ、駅と街の一体感を形成し、2020年度の竣工を目指します。

○用途: 駅舎、物販店舗、飲食店舗、図書館、サービス店舗(保育所など) ○構造・階数: 鉄骨造5階建



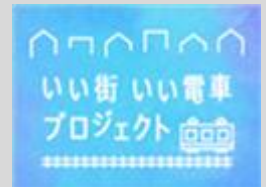
▲駅外観イメージ



▲北側の駅出入口イメージ

■いい街 いい電車 プロジェクトとは・・・

「いい街 いい電車 プロジェクト」とは、選ばれる沿線日本一に向け、沿線のみならず、沿線の近くで良い関係「近イ関係」を目指すプロジェクトです。駅がもっと身近になる活動を通して、愛着のある「いい街」と、いつでもどこでも安全に移動できる、安心・快適な「いい電車」の実現に向け、積極的に活動します。



以 上